

は　じ　め　に

今年も所報、第34集をお届けすることが出来る。

第34集には研究報告6編、調査報告7編、ノート14編を載せることができたが、これは最近数年間の平均並みである。しかし他の専門誌への発表論文の抄録は近来になく多く37編を数えている。専門誌に載せる論文が数多くあることは勿論結構なことであるが、一方、所報の内容も気になるものである。研究職員の数が変わらない以上、年間の論文数には限りがあるであろうし、要は配分の違いであろう。他の専門誌にも多くの良い論文を載せ、同時に、所報の内容も高い水準に維持することを目標とすべきであろう。

昭和59年10月

北海道立衛生研究所長 兵　藤　矩　夫